

図書館職員の研修活動から

図書館資料の保存と補修

3月15日(木)、国立国会図書館資料保存課の石渡先生を招いて、「図書館資料の保存と補修」研修が行われました。長い年月を経ての紙の劣化、不適切な取扱いによる破損・汚損、カビや虫害など、貴重な知的財産である図書を次の時代にも残すには、さまざまな脅威への



実習風景



質疑応答

の対策が必要です。会場の図書館会議室には、本学の附属図書館職員・大学史資料室職員・附属学校司書教諭・司書など20名が集まりました。前半の講義で保存環境や予防対策の重要性についても学んだ後、後半は「破れたページをつくろい」、「外れたページをなおす」の2つの図書補修を実際に行ない、貴重な研修の機会となりました。

ファシレ！図書館員！

ファシリテーション・ワークショップ

2月16日(金)には近隣の国立大学図書館とともに、若手職員企画による研修がラーニングコモンズで行われました。図書館の活動や、学生・教員・社会との連携にも関わるファシ



ワークショップ風景



深貝先生の基調講演

リテーションがテーマです。前半は横浜国大の深貝先生による大学図書館員に求められる資質についての基調講演、千葉大・帝京大の活動の事例報告です。後半は金沢工大虎ノ門大学院の三谷先生によるワークショップで、集団の中での「決める力」や「伝える力」をさまざまな事例を用いて学びました。